

2026年度 シラバス(授業内容)

昼間部 2年 観光科 トラベル・アウトドアコース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

(1) 共通科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。

(2) 専門科目: 各科各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2026 年度昼間部 2 年 観光科トラベル・アウトドアコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	4	3	2	3	12
	専門科目	14	14	15	12	55
合計		18	17	17	15	67

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

2025年度入学生 観光科 トラベル・アウトドアコース 履修科目・単位一覧(前期13週・後期13週)																								
		1年前期				1年後期				2年前期				2年後期										
		科目名	区分	講師名	単位	時間数	科目名	区分	講師名	単位	時間数	科目名	区分	講師名	単位	時間数	科目名	区分	講師名	単位	時間数			
共通科目	キャリアデザインⅠ	演			1	26	キャリアデザインⅡ	演			1	26					ビジネスコミュニケーションⅡ	演			1	26		
	ビジネスコミュニケーションⅠ	演			1	26											デジタルスキルⅣ	演			1	26		
	デジタルスキルⅠ	演			1	26	デジタルスキルⅡ	演			1	26	デジタルスキルⅢ	演			1	26	デジタルスキルⅣ	演			1	26
	Let's Speak EnglishⅠ	演			1	26	Let's Speak EnglishⅡ	演			1	26	Let's Speak EnglishⅢ	演			1	26	Let's Speak EnglishⅣ	演			1	26
	小計				4	104	小計				3	78	小計				2	52	小計				3	78
必修科目	国内観光資源Ⅰ	講	松川		2	52	国内観光資源Ⅱ	講	松川		2	52	国内観光資源Ⅲ	講	松川		1	26	国内観光資源Ⅳ	講	松川		1	26
	ワールドデザインⅠ	講	石松		1	26	ワールドデザインⅡ	講	石松		1	26	ワールドデザインⅢ	講	石松		1	26	ワールドデザインⅣ	講	石松		1	26
	添乗業務Ⅰ	演	北瀬口		1	26	添乗業務Ⅱ	演	北瀬口		1	26	添乗業務Ⅲ	演	北瀬口		1	26	添乗業務Ⅳ	演	北瀬口		1	26
	SNSプロモーションⅠ	講	関野		1	26	SNSプロモーションⅡ	講	関野		1	26	SNSプロモーションⅢ	講	関野		1	26	SNSプロモーションⅣ	講	関野		1	26
	アウトドア実務Ⅰ	演	企業		1	26	アウトドア実務Ⅱ	演	企業		1	26	アウトドア実務Ⅲ	演	企業		1	26	アウトドア実務Ⅳ	演	企業		1	26
	観光業基礎Ⅰ	講	立石		1	26	観光業基礎Ⅱ	講	立石		1	26	観光業演習Ⅰ	演	立石		1	26	観光業演習Ⅱ	演	立石		1	26
	観光業基礎Ⅱ	講	石松		1	26	観光業基礎Ⅲ	講	石松		1	26	Global CommunicationⅠ	演	Rhys		1	26	Global CommunicationⅡ	演	Rhys		1	26
	観光業基礎Ⅲ	講	中山		1	26	観光業基礎Ⅳ	講	中山		1	26	観光業演習Ⅲ	演	立石		1	26	観光業演習Ⅳ	演	立石		1	26
	観光業基礎Ⅳ	講	立石		1	26	観光業基礎Ⅴ	講	立石		1	26	Global CommunicationⅢ	演	Rhys		1	26	Global CommunicationⅣ	演	Rhys		1	26
	観光業基礎Ⅴ	講	石松		1	26	観光業基礎Ⅵ	講	石松		1	26	観光業演習Ⅴ	演	立石		1	26	観光業演習Ⅵ	演	立石		1	26
	観光業基礎Ⅵ	講	中山		1	26	観光業基礎Ⅶ	講	中山		1	26	観光業演習Ⅶ	演	立石		1	26	観光業演習Ⅷ	演	立石		1	26
	観光業基礎Ⅶ	講	立石		1	26	観光業基礎Ⅷ	講	立石		1	26	観光業演習Ⅷ	演	立石		1	26	観光業演習Ⅷ	演	立石		1	26
	観光業基礎Ⅷ	講	中山		1	26	観光業基礎Ⅸ	講	中山		1	26	観光業演習Ⅸ	演	立石		1	26	観光業演習Ⅸ	演	立石		1	26
	観光業基礎Ⅸ	講	立石		1	26	観光業基礎Ⅹ	講	立石		1	26	観光業演習Ⅹ	演	立石		1	26	観光業演習Ⅹ	演	立石		1	26
	観光業基礎Ⅹ	講	中山		1	26	観光業基礎Ⅺ	講	中山		1	26	観光業演習Ⅺ	演	立石		1	26	観光業演習Ⅺ	演	立石		1	26
	観光業基礎Ⅺ	講	立石		1	26	観光業基礎Ⅻ	講	立石		1	26	観光業演習Ⅻ	演	立石		1	26	観光業演習Ⅻ	演	立石		1	26
	観光業基礎Ⅻ	講	中山		1	26	観光業基礎Ⅼ	講	中山		1	26	観光業演習Ⅼ	演	立石		1	26	観光業演習Ⅼ	演	立石		1	26
	観光業基礎Ⅼ	講	立石		1	26	観光業基礎Ⅽ	講	立石		1	26	観光業演習Ⅽ	演	立石		1	26	観光業演習Ⅽ	演	立石		1	26
	観光業基礎Ⅽ	講	中山		1	26	観光業基礎Ⅾ	講	中山		1	26	観光業演習Ⅾ	演	立石		1	26	観光業演習Ⅾ	演	立石		1	26
	観光業基礎Ⅾ	講	立石		1	26	観光業基礎Ⅿ	講	立石		1	26	観光業演習Ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習Ⅿ	演	立石		1	26
観光業基礎Ⅿ	講	中山		1	26	観光業基礎ⅰ	講	中山		1	26	観光業演習ⅰ	演	立石		1	26	観光業演習ⅰ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅰ	講	立石		1	26	観光業基礎ⅱ	講	立石		1	26	観光業演習ⅱ	演	立石		1	26	観光業演習ⅱ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅱ	講	中山		1	26	観光業基礎ⅲ	講	中山		1	26	観光業演習ⅲ	演	立石		1	26	観光業演習ⅲ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅲ	講	立石		1	26	観光業基礎ⅴ	講	立石		1	26	観光業演習ⅴ	演	立石		1	26	観光業演習ⅴ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅴ	講	中山		1	26	観光業基礎ⅵ	講	中山		1	26	観光業演習ⅵ	演	立石		1	26	観光業演習ⅵ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅵ	講	立石		1	26	観光業基礎ⅶ	講	立石		1	26	観光業演習ⅶ	演	立石		1	26	観光業演習ⅶ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅶ	講	中山		1	26	観光業基礎ⅷ	講	中山		1	26	観光業演習ⅷ	演	立石		1	26	観光業演習ⅷ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅷ	講	立石		1	26	観光業基礎ⅸ	講	立石		1	26	観光業演習ⅸ	演	立石		1	26	観光業演習ⅸ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅸ	講	中山		1	26	観光業基礎ⅹ	講	中山		1	26	観光業演習ⅹ	演	立石		1	26	観光業演習ⅹ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅹ	講	立石		1	26	観光業基礎ⅺ	講	立石		1	26	観光業演習ⅺ	演	立石		1	26	観光業演習ⅺ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅺ	講	中山		1	26	観光業基礎ⅻ	講	中山		1	26	観光業演習ⅻ	演	立石		1	26	観光業演習ⅻ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅻ	講	立石		1	26	観光業基礎ⅼ	講	立石		1	26	観光業演習ⅼ	演	立石		1	26	観光業演習ⅼ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅼ	講	中山		1	26	観光業基礎ⅽ	講	中山		1	26	観光業演習ⅽ	演	立石		1	26	観光業演習ⅽ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅽ	講	立石		1	26	観光業基礎ⅾ	講	立石		1	26	観光業演習ⅾ	演	立石		1	26	観光業演習ⅾ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅾ	講	中山		1	26	観光業基礎ⅿ	講	中山		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅿ	講	立石		1	26	観光業基礎ⅿ	講	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅿ	講	中山		1	26	観光業基礎ⅿ	講	中山		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅿ	講	立石		1	26	観光業基礎ⅿ	講	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅿ	講	中山		1	26	観光業基礎ⅿ	講	中山		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅿ	講	立石		1	26	観光業基礎ⅿ	講	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅿ	講	中山		1	26	観光業基礎ⅿ	講	中山		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅿ	講	立石		1	26	観光業基礎ⅿ	講	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅿ	講	中山		1	26	観光業基礎ⅿ	講	中山		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅿ	講	立石		1	26	観光業基礎ⅿ	講	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅿ	講	中山		1	26	観光業基礎ⅿ	講	中山		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅿ	講	立石		1	26	観光業基礎ⅿ	講	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅿ	講	中山		1	26	観光業基礎ⅿ	講	中山		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅿ	講	立石		1	26	観光業基礎ⅿ	講	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅿ	講	中山		1	26	観光業基礎ⅿ	講	中山		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅿ	講	立石		1	26	観光業基礎ⅿ	講	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅿ	講	中山		1	26	観光業基礎ⅿ	講	中山		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅿ	講	立石		1	26	観光業基礎ⅿ	講	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅿ	講	中山		1	26	観光業基礎ⅿ	講	中山		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅿ	講	立石		1	26	観光業基礎ⅿ	講	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	
観光業基礎ⅿ	講	中山		1	26	観光業基礎ⅿ	講	中山		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石		1	26	観光業演習ⅿ	演	立石				

共通科目

25年度シラバス（授業計画）

科目名	デジタルスキルⅢ・Ⅳ			科目区分	共通科目
対象	全学科			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：担当講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：			
授業概要	現代社会において、基本的なパソコン操作は必須スキルです 基礎的なPC操作を理解するとともに、Word Excelの基本操作を修得します				
到達目標	アプリケーションの起動やファイル操作をはじめ、Word Excelを使用した簡易的な文書作成ができることを目標とします。また、文書作成において重要なタッチタイピングスキルを“ホームポジションを意識して両手で文字が打てるレベル”まで伸ばしましょう				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	<ul style="list-style-type: none"> ・「30時間アカデミック情報リテラシー Office2016」(実教出版) ・USBメモリ 				
授業計画	1 power point 基礎,等	1 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	2 power point 基礎,等	2 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	3 power point 基礎,等	3 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	4 power point 基礎,等	4 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	5 power point 基礎,等	5 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	6 power point 基礎,等	6 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	7 power point 基礎,等	7 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	8 power point 基礎,等	8 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	9 power point 基礎,等	9 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	10 power point 基礎,等	10 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	11 power point 基礎,等	11 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	12 テスト前予習	12 テスト前予習			
	13 テスト返却,確認	13 テスト返却,確認			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	Let's Speak English III・IV			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：Native teacher				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：			
授業概要	Anyone can speak English with foreigners with some effort. Simple key sentences and concepts are practiced through conversation, listening, and activities. Classes are divided by level, but all classes are taught in English only, with a native English speaker.				
到達目標	Communication in simple English about everyday topics. Students will be able to communicate with people from different countries and cultures.				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	1 Talking about a place		1 Talking about quantities		
	2 Asking for and giving suggestions		2 Talking about needs		
	3 Talking about locations		3 Talking about what you eat & healthy eating habits		
	4 Asking for & giving directions		4 Asking about & describing food		
	5 Review for test		5 Review for test		
	6 Speaking test 1		6 Speaking test 1		
	7 Asking about & giving prices		7 Talking about past events		
	8 Bargaining for a lower price		8 Asking about past events		
	9 Talking about frequency		9 Introducing news & reacting to news		
	10 Describing features		10 Talking about future plans		
	11 Review for test		11 Review for test		
	12 Speaking test 2		12 Speaking test 2		
	13 Review		13 Review		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	ビジネスコミュニケーションⅡ			科目区分	共通科目
対象	全学科 全コース			授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数	後期：26時間
担当	講師名：担当講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/>		実務経験内容：		
授業概要	観光ビジネス業界にふさわしいマナーや必要知識を身に付けること。 ビジネスマナーを基にロールプレイを交えた内容で学ぶ。				
到達目標	新社会人として必要なビジネスマナーに関する知識を習得し、体現できること。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	秘書検定合格教本2・3級 新星出版社（1年次購入済み）				
授業計画	1 年金・税・保険の知識				
	2 組織（役職）と部門について				
	3 慶弔に関する知識とマナー				
	4 領収書の記入方法				
	5 その他ビジネス用語				
	6 アポイントから訪問・来訪マナー、名刺交換				
	7 上座・下座				
	8 企業訪問 実践ロールプレイ				
	9 電話の受け方と取り次ぎ方、メモの残し方				
	10 電話応対 実践ロールプレイ				
	11 上手な聞き方、話し方				
	12 命令・指示、忠告・注意の受け方				
	13 まとめと振り返り				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

トラベル・アウトドアコース

専門科目

26年度シラバス（授業計画）

科目名	国内観光資源Ⅲ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベル・アウトドアコース / 鉄道科 鉄道・交通サービスコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：松川 信也			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：現役旅行添乗員。旅行コンサルティング会社経営。 総合旅行業務取扱管理者		
授業概要	1年次に学習した日本全国の観光資源に関する知識を更に深め、国内旅行の実務を行う上での必要知識を高めながら、「観光を楽しむ」手段としての地理も学ぶ。			
到達目標	1.国内旅行の実務上必要となる「温泉」の知識を中心に、主要な観光資源の内容を説明できる。 2.「観光を楽しむ」手段としての「駅弁」「日本神話」「パワースポット」を説明できる。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：国内旅行業務取扱管理者 世界遺産検定			
教科書 教材	「国内観光資源」(JTB 総研) -1年次に使用したもの 「旅に出たくなる地図・日本」(帝国書院) -1年次に使用したもの			
授業計画	1 2026 国内旅行の主要動向	1 日本の主要「駅弁」(1) - 駅弁の歴史		
	2 日本の温泉地(1) - 九州	2 日本の主要「駅弁」(2) - 東日本		
	3 日本の温泉地(2) - 中国・四国	3 日本の主要「駅弁」(3) - 西日本		
	4 日本の温泉地(3) - 近畿	4 日本の主要「駅弁」(4) - まとめ		
	5 日本の温泉地(4) - 中部地方	5 日本神話の舞台(1) - 「国生み」		
	6 日本の温泉地(5) - 関東	6 日本神話の舞台(2) - 「天岩戸」		
	7 日本の温泉地(6) - 東北	7 日本神話の舞台(3) - 「八俣のオロチ」		
	8 日本の温泉地(7) - 北海道	8 日本神話の舞台(4) - 「因幡の白ウサギ」		
	9 インバウンドの好む温泉(1)	9 日本神話の舞台(5) - 「天孫降臨」		
	10 インバウンドの好む温泉(2)	10 日本のパワースポット(1)「武運」		
	11 観光資源個別テーマ(1) 日本の空港	11 日本のパワースポット(2)「金運」		
	12 観光資源個別テーマ(2) 食文化	12 日本のパワースポット(3)「縁結び」		
	13 観光資源個別テーマ(2) 京都の魅力	13 日本のパワースポット(4) まとめ		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験80%以上、出席率80%以上、平常点 優 B：評価試験60%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験40%未満、出席率60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	ワールドデスティネーションズⅢ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベル・アウトドアコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：担当講師				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	実務経験内容：旅行業界にて旅程管理実務経験あり。			
授業概要	日本からの渡航者が多い世界の国と地域の観光資源および、それに関わる地勢、国情勢、宗教、歴史などについて、基礎を学ぶ。授業内で、理解度を測るテストを実施する。後期には、2年次前期までに履修できていない観光資源について学ぶ。履修内容、順番は、変更される場合がある。				
到達目標	世界のエリア、主要な国や地域、都市を地図上で把握できる。 渡航先の基本情報が理解できる。 渡航先の魅力について理解および考察ができる。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし	・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	海外観光資源（JTB 総研） 旅に出たくなる地図 世界（帝国書院） ※ともに1年次に購入済 適宜プリント使用				
授業計画	1 東南アジア（タイ、シンガポール）				1 東南アジア（インドネシア、その他）
	2 南アジア（インド、ネパール）				2 アジア補足
	3 中東（トルコ）				3 北米3（カナダ）
	4 欧州1（英国、フランス）				4 北中南米補足
	5 欧州2（イベリア半島の国々）				5 欧州5（世界遺産、建造物）
	6 欧州3（ドイツ語圏の国々）				6 欧州6（自然景観）
	7 欧州4（イタリア、その他）				7 欧州7（中欧諸国、バルカン諸国）
	8 北米1（アメリカ合衆国）				8 アフリカ1（エジプト）
	9 北米2/ 中南米の国々				9 アフリカ2（モロッコ、イスラム圏の文化風習）
	10 大洋州1（ハワイ）				10 大洋州3（補足）
	11 大洋州2（オーストラリア、その他）				11 宗教画
	12 予備日				12 予備日
	13 予備日				13 予備日
成績評価 方法	下記評価基準に基づく。				
成績評価 基準	A：評価試験80%以上、および出席率80%以上、および平常点 優。 B：評価試験60%以上、または出席率70%以上、または平常点 良 C：評価試験40%以上、または出席率60%以上、または平常点 可 D：評価試験40%未満、または出席率60%未満、または平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	添乗実務Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：北湯口 茂				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：旅行業界にて添乗員実務経験あり。			
授業概要	【前期；国内／後期；海外】Ⅲ／Ⅳでは「専門課程」と位置づけし、Ⅰ／Ⅱの「基礎課程」で学んだ基本的業務の流れを復習しつつ、より実践に即した模擬演習も行い「即戦力」の向上を目指します。 【後期；海外】Ⅳでは国内添乗と異なる「グローバルな知識」習得と「即戦力」の向上を目指します。				
到達目標	国内、海外ツアーコンダクターとしての業務知識の復習と応用力、即戦力に必要な知識を学びます 【国内】国内旅行添乗業務をより深く理解すると共に、即戦力に必要な応用力を学びます。 【海外】外旅行添乗業務をより深く理解すると共に、グローバルな即戦力に必要な知識を学びます。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：国内旅程管理主任者資格／総合旅程管理主任者資格				
教科書 教材	1. 旅程管理研修教本（日本添乗サービス協会） 2. プリント（講義内容に即した内容、等） 3. 各種オリジナル書類（運輸、宿泊、観光、その他）のコピー				
授業計画	1 「課程Ⅰ」 振り返りと確認①			1 「課程Ⅱ」 振り返りと確認①	
	2 「課程Ⅰ」 振り返りと確認② ※小テスト 1			2 「課程Ⅱ」 振り返りと確認② ※小テスト 1	
	3 J R と私鉄 駅誘導、社内設備、途中積み込み			3 航空機利用及びマイレージ提携	
	4 航空機 空港把握、自動機 ※小テスト 2			4 オプションツアー（事前手配と現地申し込み）	
	5 トラブル対応① 出発～交通機関～宿泊			5 トラブル対応①出発～現地到着	
	6 ニーズ把握 国内ツアー旅客			6 トラブル対応②現地観光／食事／宿泊／その他	
	7 旅の演出 ツアーの盛り上げ方			7 ニーズ把握 海外ツアー旅客 ※小テスト 2	
	8 タブレット端末とアプリの利用方法			8 旅の演出①世界史について	
	9 正しい敬語と接客態度 ※小テスト 3			9 旅の演出②海外の文化について ※小テスト 3	
	10 模擬演習①打ち合わせ～予約確認～準備			10 模擬演習①打ち合わせ～予約確認～準備	
	11 模擬演習②出発～宿泊			11 模擬演習②出発～宿泊 ※精算と報告含む	
	12 模擬演習③宿泊地出発～帰着～精算			12 模擬演習③観光（英語ガイド通訳と添乗員案内）	
	13 振り返り ※小テスト 4			13 振り返り ※小テスト 4	
成績評価 方法	下記評価基準に基づく ※全4回の小テスト平均点から判断				
成績評価 基準	A：評価試験80点以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験60点以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験40点以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験40点未満、出席率60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	SNS プロモーションⅢ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科・観光科・鉄道科		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：響 丈			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	Youtube チャンネル運営。登録者 14,000 人 X フォロワー 5,300 人		
授業概要	SNS を活用し、観光プロモーションの創り出し方を学ぶ。主に Youtube や X を実際に運用しながら、効果的なプロモーションについて実践的な経験を習得する。各 SNS の運用をはじめ、プロモーション全体として戦略的なアプローチ方法を学ぶ。			
到達目標	基本的な Instagram の運用ができるようになる。プロモーションの意味を理解し、その手段として SNS を使うことができる。SNS を使った効果的なプロモーションを企画運用できる。SNS ごとの特徴を活かし、総合的にプロモーションできるようになる。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ <input type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：			
教科書 教材	なし（適宜、資料を用意します）			
授業計画	1 Instagram とは	1 X を使った広告①		
	2 アカウントの作り方～基本機能	2 Youtube を使った広告②		
	3 デザインの重要性	3 プロフィールの役割		
	4 デザインの基本	4 ショート動画作成①		
	5 写真の撮り方①	5 ショート動画作成②		
	6 写真の撮り方②	6 動画作成の仕方		
	7 掲載文の作り方	7 動画作成①		
	8 ハッシュタグ、キャッチコピー	8 動画作成②		
	9 サムネイルの作り方	9 SNS 連携プロモーション①		
	10 効果的な連続投稿	10 SNS 連携プロモーション②		
	11 人の目につく投稿とは	11 リスク管理①		
	12 まとめ①	12 リスク管理②		
	13 まとめ②	13 まとめ		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	アウトドア実務Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベル・アウトドアコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：豊島 大輝				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：グランピングおよびアウトドア企業での実務経験			
授業概要	様々なキャンプギアに触れて、実際にアウトドアスキルを身に付ける。サービス提供時に必要になるアウトドアの専門知識を身に付けると共に、安全管理など現場のリスクを正しく理解してアウトドアプログラムを実施できる内容にする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自身でアウトドアの事業計画を立案しアクティビティを伴い実施することを目標とする。 ・現場に必要な安全管理について学び、実践的なスキルを身に付ける。 ・ロープワークやアウトドア料理など、実践的なスキルを身に付ける。 				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書教材	楽しむ！極める！キャンプ完全ガイド（西東社）（1年次購入）				
授業計画	1 ロープワークの基本1	1 現地学習①（亀山温泉施設見学）			
	2 ロープワークの基本2	2 現地学習②（亀山温泉施設見学）			
	3 ロープワークの基本3	3 現地学習③（亀山温泉施設見学）			
	4 ダッチオープンの基本	4 現地学習④（亀山温泉施設見学）			
	5 ダッチオープンの管理	5 現地学習⑤（現場でのプログラム学習）			
	6 ダッチオープンの応用（ダッチオープン料理）	6 現地学習⑥（現場でのプログラム学習）			
	7 焚き火の基本	7 現地学習⑦（現場でのプログラム学習）			
	8 焚き火の応用（焚き火料理）	8 現地学習⑧（現場でのプログラム学習）			
	9 テントの基本	9 現地学習⑨（旅館・宿泊実習）			
	10 テントの張り方実技	10 現地学習⑩（旅館・宿泊実習）			
	11 アウトドアプログラムの実施1	11 現地学習⑪（旅館・宿泊実習）			
	12 アウトドアプログラムの実施2	12 現地学習⑫（旅館・宿泊実習）			
	13 アウトドアプログラムの実施3	13 現地学習⑬（旅館・宿泊実習）			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	観光業演習Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：磯貝 妃香				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：旅行業界にて旅程管理実務経験あり。			
授業概要	1年次から引き続き観光実務に関する様々な課題を解決すべく実習を踏まえて学習していきます。観光イベントの計画立案から実施に至るまでのプロセスを学び、それぞれの企業に就職した後でも自身でイベントや催し物を出来るように覚えて行きましょう。				
到達目標	現在の観光業界を知り、業界における知識・実務を習得・表現することが出来る				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ <input type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：				
教科書教材	なし (適宜、資料としてプリントを使用します)				
授業計画	1 観光業界研究①（業界の現状を知る）	1 観光イベントの作成①（地域・場所の選定）			
	2 観光業界研究②（業界の課題を知る）	2 観光イベントの作成②（地域・場所の選定）			
	3 観光業界研究③（業界の手段を知る）	3 観光イベントの作成③（イベント内容の検討）			
	4 観光業界研究④（業界の目的を知る）	4 観光イベントの作成④（イベント内容の検討）			
	5 業界実務①（観光イベントの魅力を考える）	5 観光イベントの作成⑤（イベント内容の検討）			
	6 業界実務②（ターゲットの選定・確認）	6 観光イベントの作成⑥（実務内容の検討）			
	7 業界実務③（ターゲット研究）	7 観光イベントの作成⑦（予算及びプレゼン検討）			
	8 業界実務④（企画の提案内容を検討）	8 観光イベントの作成⑧（予算及びプレゼン検討）			
	9 業界実務⑤（企画の提案内容を検討）	9 観光イベントの作成⑨（プレゼン実施）			
	10 業界実務⑥（企画の提案内容を検討）	10 観光イベントの作成⑩（企画検討）			
	11 業界実務⑦（企画の発表準備）	11 観光イベントの作成⑪（企画検討）			
	12 業界実務⑧（企画の発表）	12 観光イベントの作成⑫（企画検討）			
	13 業界実務⑨（企画発表の振り返り）	13 観光イベントの作成⑬（企画実施）			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験及び実技披露での習得率80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験及び実技披露での習得率60%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験及び実技披露での習得率40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験及び実技披露での習得率40%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス (授業計画)

科目名	Global Communication I・II			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 26 時間 後期 : 26 時間
担当	講師名 : Robert Endo-McCabe				
	実務経験 : 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容 :			
授業概要	Students will practice learned English vocabulary and skills via role playing and speaking with native teachers.				
到達目標	Improving English skills with regard to traveling and become confident in speaking English with native speakers.				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称 :				
教科書 教材	Original text				
授業計画	1 Greeting guest (Talking about Chiba)	1 Seasonal activities and foods			
	2 Greeting guests (Self Introduction)	2 Regional recommendations			
	3 Baggage claim and travel problems	3 At a barbecue, seating the guests and			
	4 Lost property (Describing items)	4 Explaining the barbecue			
	5 Getting an App	5 Introducing the drinks menu			
	6 Using the App	6 Talking about foods (explain Japanese restaurants)			
	7 Explaining an App	7 Talking about foods (Explaining Japanese dishes)			
	8 Explaining how to use something	8 Rules and laws in Japan			
	9 Giving instructions	9 Staying at a Japanese Inn			
	10 Getting to the hotel and times	10 Chopstick etiquette			
	11 Locations and directions	11 Taking booking for camp			
	12 Hotel Check in	12 Discussing camp amenities and facilities			
	13 Obtaining Guest information	13 Japanese gourmet			
成績評価 方法	出席状況・評価試験・授業参加意欲を総合的に評価する				
成績評価 基準	A : 評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B : 評価試験 65%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C : 評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D : 評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	観光総合プランニングⅡ・Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベル・アウトドアコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：中山 健也				
	実務経験：有・無	実務経験内容：			
授業概要	<p>昨今の観光とは、ただ「旅行に行く」だけではなくなっています。 お客様毎に達成したい目的を観光業に携わる観点から考察し「どのようにしたらお客様に喜んでもらえるか」「どうすればお客様に選ばれるか」を考えながら様々なイベントを企画します。 また各観光地を題材にしたイベント等にも参加し、お客様から見た視点を養い、改善点や問題点を見つけどのようにすれば改善できるかをグループワークを用いて学習します。</p>				
到達目標	<p>プランニングの基礎を用いて、自分達の旅行計画や他の人に向けての計画を作成する 実際に各地のイベントを参考にしながら新しいイベントの企画立案や企画書の作成を行い グループワークを中心としながら、様々な視野を持ってお客様に対応できるよう学習する</p>				
検定資格	任意 名称：				
教科書 教材	なし				
授業計画	1	テーマ作成に当たっての注意、テーマ決め	1	SPT 研修旅行の作成①テーマ決め	
	2	ツアー作成①行程の決定、内容の確認	2	SPT 研修旅行の作成②行程、内容の決定	
	3	ツアー作成②ポイント、「売り」の決定	3	SPT 研修旅行の作成③ツアーのポイント決定	
	4	ツアー作成③説明&パワポ作成	4	SPT 研修旅行の作成④1回目打ち合わせ	
	5	ツアー作成④発表、総評	5	SPT 研修旅行の作成⑤打ち合わせの振り返り	
	6	観光イベント作成①日本文化の紹介	6	SPT 研修旅行の作成⑥2回目打ち合わせ	
	7	観光イベント作成②ポイント、ヒアリング	7	SPT 研修旅行の作成⑦打ち合わせの振り返り	
	8	観光イベント作成③打ち合わせ1回目	8	SPT 研修旅行の作成⑧行程表調整、プレゼン案	
	9	観光イベント作成④ブラッシュアップ	9	SPT 研修旅行の作成⑨プレゼン編集	
	10	観光イベント作成⑤打ち合わせ2回目、調整	10	SPT 研修旅行の作成⑩案作成	
	11	ツアー作成⑤実施後の振り返り	11	SPT 研修旅行の作成⑪案作成2、業務確認	
	12	観光イベント作成⑥発表	12	SPT 研修旅行の作成⑫案作成3、内容調整	
	13	観光イベント作成⑦総評、反省	13	SPT 研修旅行の作成⑬実施前最終確認	
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	<p>A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	旅行業法・旅行業約款Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース/鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：2単位	時間数	前期：52時間
担当	講師名：磯貝 妃香				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	実務経験内容：旅行業界にて旅程管理実務経験あり。			
授業概要	1年次から引き続き旅行業法と約款の知識を身につけるとともに、国内旅行業務取扱管理者試験で必要とされる能力を培い試験対策としていきます。国家試験の合格はもとより、業界で必要とされる知識の習得を目指して学習していきます。				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験を受験する際に必要な知識の習得				
検定資格	任意 名称：国内旅行業務取扱管理者試験				
教科書教材	「旅行業法」「旅行業約款」（JTB総研） ※1年次に購入済み 適宜、過去問題プリント				
授業計画	1 業法①（過去項目復習①）				1 約款①（過去項目復習①）
	2 業法②（過去項目復習②）				2 約款②（過去項目復習②）
	3 業法③（過去項目復習③）				3 約款③（過去項目復習③）
	4 業法④（小テスト、受託契約、代理業者）				4 約款④（小テスト、契約の締結、解除）
	5 業法⑤（過去問の解きなおし&解説①）				5 約款⑤（過去問の解きなおし&解説①）
	6 業法⑥（過去問の解きなおし&解説②）				6 約款⑥（過去問の解きなおし&解説②）
	7 業法⑦（過去問の解きなおし&解説③）				7 約款⑦（過去問の解きなおし&解説③）
	8 業法⑧（過去問の解きなおし&解説④）				8 約款⑧（過去問の解きなおし&解説④）
	9 業法⑨（小テスト、旅行業協会、サービス手配業）				9 約款⑨（小テスト、契約の締結・変更・解除）
	10 業法⑩（過去模試実施、解答&解説①）				10 約款⑩（過去模試実施、解答&解説①）
	11 業法⑪（過去模試実施、解答&解説②）				11 業法⑪（過去模試実施、解答&解説②）
	12 業法⑫（過去模試実施、解答&解説③）				12 業法⑫（過去模試実施、解答&解説③）
	13 期末テスト&解答、解説				13 期末テスト&解答、解説
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	JR 運賃・料金Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベル・アウトドアコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：26時間
担当	講師名：中山 健也				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	実務経験内容：鉄道会社にて駅員、乗務員経験あり			
授業概要	JRの運賃料金システムについて、実務者として必要な知識・技術を身に付けるとともに、国内旅行業務取扱管理者試験で必要とされる能力を培い試験対策としていきます。国家試験の合格はもとより、業界で必要とされる知識の習得を目指して学習していきます。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国内旅行業務取扱管理者試験の合格 ・業界で必要とされる実務能力の習得 				
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：国内旅行業務取扱管理者				
教科書 教材					
授業計画	1 1年時の振り返り（小テスト①）				
	2 JR 営業規則①				
	3 JR 営業規則②				
	4 JR 営業規則③（小テスト②）				
	5 JR 運賃演習問題①（幹線と地方交通線、通過連絡運輸の複合問題）				
	6 JR 運賃演習問題②（特定都区市内制度、学生割引、往復割引の複合問題）（小テスト③）				
	7 JR 料金演習問題①（在来線特急料金の計算）				
	8 JR 料金演習問題②（新幹線の計算）				
	9 JR 料金演習問題③（新幹線の計算）（小テスト③）				
	10 過去問による演習①				
	11 過去問による演習②				
	12 期末試験				
	13 期末試験返却/振り返り				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：授業理解度 30%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：授業理解度 30%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	国内旅行実務II			科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベル・アウトドアコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：26時間
担当	講師名：中山健也				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/>	実務経験内容：			
授業概要	JR・貸切バス・フェリー運送・宿泊機関の運賃料金のシステムについて、実務者として必要な知識・技術を身につけるとともに、国内旅行業務取扱管理者試験で必要とされる能力を培い試験対策としていきます。国家試験の合格はもとより、業界で必要とされる知識の習得を目指して学習していきます。				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験を受験する際に必要な知識の習得				
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：国内旅行業務取扱管理者				
教科書 教材					
授業計画	1 宿泊料金について				
	2 宿泊料金について				
	3 宿泊料金について（小テスト①）				
	4 貸切バスについて				
	5 貸切バスについて（小テスト②）				
	6 フェリーについて（小テスト③）				
	7 航空運賃について				
	8 航空運賃について				
	9 航空運賃について（小テスト④）				
	10 過去問題にて演習				
	11 過去問題にて演習				
	12 期末試験				
	13 期末試験返却/振り返り				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

2026年度シラバス（授業計画）

科目名	韓国語 I・II			科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベル・アウトドアコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名： 渡部 茂				
	実務経験： 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：			
授業概要	韓国語の会話のみならず、この言語を使用している民族の文化面的な背景も学ぶ。				
到達目標	一年間を通して日常の韓国語の場面話術や、各業界の専門的な業務会話の習得までを到達目標とする。				
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称： ハングル検定・韓国語能力検定				
教科書教材	「例文をなぞって覚える場面別会話集」 渡部 茂 著				
授業計画	1.韓国語とはとハングル創製の時代背景まで	1.基本的な会話（初対面の挨拶等）			
	2.文字と発音のルール（連音化・有声音化等）	2.日常会話（I THBで何を学んでいますか等）			
	3.音の変化（流音化・鼻音化・口蓋音化等）	3.旅行・観光（機内・列車内・バス内での案内等）			
	4.数詞 助数詞 漢数詞と固有数詞（1と一）	4.飲食時の会話（客と従業員の間の会話等）			
	5.指示代名詞と疑問詞	5.ホテル内での会話（予約と応対等）			
	6.助詞（一音節・二音節・三音節・四音節等）	6.交通と乗り物（I THBまで行って下さい等）			
	7.用言の活用（です・ます）	7.テーマパーク（入場客のご案内や引率等）			
	8.文中の連体形と連用形	8.ショッピング会話（日常や旅先の注文と応対等）			
	9.待遇表現（丁寧語・謙譲語・尊敬語等）	9.感情表現（日韓形容詞の相違の比較対照）			
	10.依存名詞の役割（こと・もの・はず・わけ等）	10.看病・介護・病気等の表現			
	11.日本語漢字音と韓国漢字音の対比	11.人生の一生の出来事表現			
	12.擬態語・擬声語（オノマトペ） 接頭辞・接尾辞	12.スマホ・パソコン等の電子機器等の表現			
	13.朝鮮半島文化的背景（親族の呼称・歴史年表）	13.芸能・音楽（前売り券・ファンミーティング等）			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A： 評価試験 80%以上、 出席率 80%以上、 平常点 優 B： 評価試験 70%以上、 出席率 70%以上、 平常点 良 C： 評価試験 60%以上、 出席率 60%以上、 平常点 可 D： 評価試験 60%未満、 出席率 60%未満、 平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	中国語Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベル・アウトドアコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：張翼飛				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：			
授業概要	前期は中国語の基本発音、文法及び中国文化を習得します、後期は基本会話の練習とエアライン、テーマパークおよび観光の現場に使う中国語を学び、即戦力となる人材を育成します。				
到達目標	基本的な中国語会話を身につけ、来日中国人のお客様に基本的な対応ができるようになる。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称：				
教科書教材	中国語初歩の初歩（高橋書店）				
授業計画	1 中国語の母音と子音の練習。	1 形容詞述語文を学習。			
	2 中国の地図、近代歴史と民族の紹介。	2 文の組み立て方の練習。			
	3 中国語四声の練習。	3 テーマパーク入場、案内で使用する会話。			
	4 中国年間行事の紹介。	4 エアラインカウンター手続きで使用する会話。			
	5 出会いと別れ、お礼とお詫びの言葉の練習。	5 観光地のバス移動で使用する会話。			
	6 中国人恋愛観と結婚観の紹介。	6 テーマパーク土産店で使用する会話。			
	7 中国語数字の言い方。	7 空港の保安検査と出国審査で使用する会話。			
	8 中国四大料理と食事マナーの紹介。	8 観光地案内で使用する会話。			
	9 動詞述語文を学習。	9 テーマパーク内レストラン利用時の会話。			
	10 中国人に送ってはいけないものの紹介。	10 エアライン搭乗案内で使用する会話。			
	11 名詞述語文を学習。	11 観光地食事マナー、ゴミ回収で使用する会話。			
	12 中国映画鑑賞。	12 テーマパーク内ホテルで使用する中国語会話。			
	13 前期期末試験問題対策。	13 後期期末試験問題対策。			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験90%以上、出席率80%以上、平常点 優 B：評価試験70%以上、出席率70%以上、平常点 良 C：評価試験50%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験50%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	社会人教養Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベル・アウトドアコース/鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：石神 直人 他				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：			
授業概要	グローバル化や日本社会の変化に伴う人々の意識や価値観の変化も関係している中で、本講座では、時事問題解説ではなく、様々な分野をについて教養を深める講座を目指します。内容は経済、地域社会などと多岐にわたりますが、いずれも今後の社会人生活や世界を視野に入れるうえで重要な視点となります。				
到達目標	卒業後の社会人生活における問題点などがあつた場合、自主的に解決もしくは相談できるような知識を持ち、より良いキャリアデザインを描けるようになってほしい。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書教材	なし (適宜、プリントもしくはPDF データ等を用意します)				
授業計画	1 マネーリテラシー（社会人の収入と支出）	1 社会人基礎（ビジネスマナー）③			
	2 マネーリテラシー（社会保険）	2 社会人基礎（コンプライアンス）④			
	3 マネーリテラシー（経済と金融 基礎①）	3 ニュース・ディスカッション			
	4 マネーリテラシー（経済と金融 基礎②）	4 危機管理			
	5 アンガーマネジメント（基礎/自己理解）	5 マネーリテラシー（経済と金融 応用①）			
	6 アンガーマネジメント（他者理解/クレーム）	6 グループワーク①(ホスピタリティ)			
	7 メンタルヘルス（ストレスと心と体）	7 グループワーク②(仕事観・キャリア)			
	8 メンタルヘルス（多角的に感情を整理する）	8 グループワーク③(コンセンサスについて)			
	9 メンタルヘルス（三大幸福物質とコーピング）	9 マネーリテラシー（経済と金融 応用②）			
	10 社会人基礎①（新入社員について）	10 宴席でのマナー①			
	11 社会人基礎②（トラブル対応）	11 宴席でのマナー②			
	12 マネーリテラシー（経済と金融 基礎③）	12 社会人の休み・余暇の過ごし方②			
	13 社会人の休み・余暇の過ごし方①	13 マネーリテラシー（経済と金融 応用③）			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	手話講座Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科・観光科・鉄道科			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：飯塚 佳代・藤田 敦子				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：手話講師・手話通訳士			
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話やその他のコミュニケーション手段（指文字、読唇、筆談、表情、ジェスチャー、音声など）を体験し学ぶ。手話技能検定6級5級4級の単語を学ぶ。また、聴覚障がいのお客様に対して自信を持ってコミュニケーションがとれるように聴覚障がいの基礎知識（医学的、社会的、心理的、文化的な側面）を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 聴覚障がい者の多様性と手話について理解をする 2. 聴覚障がい者を取り巻く環境および問題点について理解をする 3. 手話やそれ以外の様々なコミュニケーション方法があることを知り体験する。 4. 手話や多様なコミュニケーション方法を用いて簡単な会話ができるようになる。 				
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：手話技能検定5級				
教科書教材	手話技能検定公式テキスト5・6・7級（日本能率協会マネジメントセンター） 手話技能検定公式テキスト3・4級（日本能率協会マネジメントセンター）				
授業計画	1 手話とは①・指文字とは・聴覚障害者とは① 6級単語：あいさつ・自己紹介・反応・指文字	1 聴覚障害者と法律 5級単語：基本動詞②・文字総合復習・会話練習			
	2 手話とは②・手話の種類・聴覚障害者とは② 6級単語：学校名・天候・疑問・指文字	2 ろう文化とは 5級単語：基本動詞③・文字総合復習・会話練習			
	3 手話とは③ 6級単語：数字・曜日・時制・指文字	3 耳の構造と補聴器 5級単語：形容詞①・文字総合復習・会話練習			
	4 手話とは④・手話と聴覚障害の種類・人数 6級単語：人・家族・指文字・会話練習	4 聴力レベルと障害者手帳 5級単語：形容詞②・5級模試			
	5 接客手話とは・接客用語の手話 6級単語：色・方角・指文字・会話練習	5 電話リレーサービス 4級単語：都道府県①・指文字総合復習・会話練習			
	6 世界の手話・国際手話・デフリンピック 6級単語：感情・動作・指文字・会話練習	6 音声認識アプリ 4級単語：都道府県②・指文字総合復習・会話練習			
	7 多様なコミュニケーション① 6級総合復習・6級模試（指文字なし）	7 盲ろう者とコミュニケーション方法 4級単語：都道府県③・指文字総合復習・会話練習			
	8 多様なコミュニケーション② 5級単語：疑問と時間・指文字・会話練習	8 マークいろいろ 4級単語：人間・指文字総合復習・会話練習			
	9 多様なコミュニケーション③ 5級単語：自然・指文字・会話練習	9 聴覚障害者トピック 4級単語：食べ物・指文字総合復習・会話練習			
	10 多様なコミュニケーション④ 5級単語：家族・趣味・指文字・会話練習	10 聴覚障害者トピック 4級単語：動物・指文字総合復習・会話練習			
	11 多様なコミュニケーション⑤ 5級単語：程度・文字総合復習・会話練習	11 聴覚障害者トピック 4級単語：生活・指文字総合復習・会話練習			
	12 試験説明と復習 5級単語：基本動詞①・6級模試（指文字部分）	12 ゲストを迎える準備・スポーツ・趣味・質問練習			
	13 6級模試返却と解説・文字総合復習・会話練習	13 ゲストティーチャーとの交流・手話を使ってみる			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 65%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	エクササイズ		科目区分	専門科目
対象	観光科		授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	講師名：上村 海音			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	実務経験内容：一般社団法人ダンス振興連盟JDAC 認定ダンス指導員		
授業概要	エクササイズを通して、安全で効果的なトレーニング方法を学び、全身の筋力、柔軟性、持久力を高め総合的な体力向上を目指す授業。			
到達目標	シアターゲーム等を通して身体を動かすことに親しみを持ち、運動意欲を高める。自分自身の身体の特徴を理解し、それに合った適正なケア方法を身に着ける。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	なし			
授業計画	1 柔軟性、筋力の計測			
	2 エクササイズバリエーション/怪我予防とリハビリに配慮したトレーニング設計①			
	3 エクササイズバリエーション/怪我予防とリハビリに配慮したトレーニング設計②			
	4 エクササイズバリエーション/怪我予防とリハビリに配慮したトレーニング設計③			
	5 小テスト			
	6 エクササイズバリエーション/怪我予防とリハビリに配慮したトレーニング設計④			
	7 エクササイズバリエーション/怪我予防とリハビリに配慮したトレーニング設計⑤			
	8 エクササイズバリエーション/怪我予防とリハビリに配慮したトレーニング設計⑥			
	9 小テスト			
	10 エクササイズバリエーション/怪我予防とリハビリに配慮したトレーニング設計⑦			
	11 エクササイズバリエーション/怪我予防とリハビリに配慮したトレーニング設計⑧			
	12 エクササイズバリエーション/怪我予防とリハビリに配慮したトレーニング設計⑨			
	13 小テスト			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく ※平常点の評価には、授業参加態度も含まれます。			
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			